

「CO・OP アーカイブズセミナー 人と歴史に学ぶ」(第5期)のご案内

日本生協連資料室

1. 「CO・OP アーカイブズセミナー」(旧名：資料室土曜講座)のこれまでの経過

2014 年度より資料室を土曜日に開室することにし、生協の役職員が自主学習のための資料室活用を奨励するためのきっかけづくりとして「日本生協連資料室 土曜講座」をスタートしました。その後、2016 年度より生協に関心のある方や生協を研究対象とされる方々に広く参加を呼びかけることとし、これまで4期の開催を重ねてきています。

※これまでの開催テーマ等は、末尾の参考のページをご参照ください。

2. 「CO・OP アーカイブズセミナー 人と歴史に学ぶ」2018 年度企画案

- 開催時期：2018 年11 月～2019 年1 月 （3回企画）
- 時間帯：16 時～18 時に設定（およそ講義 60 分、質疑応答 60 分）
- 開講場所：主婦会館プラザエフ5階第1・第2会議室
- 受講対象：日本生協連グループで働く方々、OB・OG の方、生協を研究対象とされる方、生協に関心のある方
- 参加費：無料
- 参加申込み方法：別紙受講申込書にご記入の上、EメールまたはFAXでお送りください。

(1)第1回：2018 年11 月10日(土)

「1970～80 年代の日本の協同組合間提携の高揚をふりかえる」

講師＝石飛豊氏：元協同組合提携推進事務局員、元日本生協連政策商品開発室長

ゲストコメンテーター＝青竹豊氏：日本協同組合連携機構(JCA)常務理事

1966 年のICA大会で協同組合原則が改訂され、「協同組合間提携の推進」が原則に加わった。さらに 1970～80 年代に生協と農協、漁協等の産直運動が発展する中で、日本の協同組合の全国連合会どうしの協同組合間提携の気運が高揚し、全中に推進事務局が置かれて「協同組合間提携研究集会」が毎年開催されていた。農協法公布 30 周年を記念し、農協・漁協・生協の協力と参加のもとに「協同組合図書資料センター」が開設され、1983 年には全農・日生協間、全漁連・日生協間、全酪連・日生協間の覚書等も交わされた。残念ながら「協同組合図書資料センター」の維持はかなわなくなり、生協関係史資料や協同組合提携関係資料については何度かに分けて日本生協連資料室に移管され、従来からの資料に加えてまとめて保管・保存されている。

近年の協同組合間連携の積み上げの中でJCA(一社)日本協同組合連携機構が4月に発足された。そのルーツともいふべき「協同組合間提携推進事務局会議」に日本生協連事業運営部時代に参加していた石飛豊さんにお話をお聞きする。

〔参考文献〕

- ・協同組合図書資料センター編『協同組合間提携及び産地直結に関する文献の目録(1945～1982 年)』

1982年9月(協同組合間提携推進事務局)

- ・協同組合間提携推進事務局『協同組合間提携の戦略的展望』1982年10月(時潮社)
- ・『協同組合間提携推進対策—1980年代後期の運動課題と実践方向—』1985年5月(協同組合間提携推進事務局会議)
- ・協同組合経営研究所編『協同組合間提携の理論と実践』1992年12月(全国協同出版)

(2)第2回：2018年12月1日(土)

「日本生協連第5代会長・高村勤氏から学ぶ—賀川豊彦に導かれた生協人生—」

講師＝布藤明良氏：元コープこうべ常勤理事、元日本生協連生協常務理事

ゲストコメンテーター＝斎藤嘉璋氏：元日本生協連常務理事、元生協総合研究所専務理事

終戦後、復員してきて友人の父(灘生協組合長の田中俊介氏)から手伝ってくれと頼まれた生協の仕事に本気になったのは、新入職員教育で配られた賀川豊彦著『協同組合の理論と実際』という小さなパンフレットだった。賀川豊彦の人間観、世界観、賀川が説く協同組合の意義に感銘したからだという。クリスチャンが多かった灘生協内部の聖書研究会で学び、自らもキリスト教徒になった。協同組合の運動と事業という矛盾のある仕事に悩みながら立ち向かった生協人生に学ぶ。

第4代会長の中林時代からすると大きく生協運動の舵をとり、「重商主義」の人というイメージをもたれている高村さんの仕事と生き様を、灘生協時代から身近にいて、追悼展の実行委員長をつとめた布藤さんから語っていただく。

〔参考文献〕

- ・『生協経営論』1993年3月(コープ出版)、
 - ・『いま生協に求められるリーダーシップとは—危機と苦難を乗り越えてきた歴史に学ぶ—』1997年6月(コープ出版)、
 - ・『生協人間—追悼展特別編集版』2015年7月(「高村勤さん追悼展」実行委員会)、
- ※追悼展のパネル作成や、『生協人間—追悼展特別編集版』の編集に資料室で協力しており、当日は追悼展実行委員会事務局のご協力をいただきパネルのミニ展示も行う予定。

(3)第3回：2019年1月19日(土)

「ユネスコ文化遺産に登録された“協同組合の思想と実践”は今?!」

講師＝杉本貴志氏：元生協総研客員研究員、関西大学商学部教授

2016年にユネスコはドイツから申請されていた「協同組合の理念と実践」を「無形文化遺産」に登録することを決めた。その意義と私たちは何を継承して実践していくべきかを考える企画。

日本の大学で数少ない協同組合論の講義をされ、京都の「くらしと協同の研究所」や全労済協会の「協同組合研究会」の中心メンバーでもある杉本貴志教授に語っていただく。

〔参考文献〕

- 杉本貴志/編、全労済協会/監修 2017年11月『格差社会への対抗—新・協同組合論』(日本経済評論社) 序章「格差」と「協同」
- 『生活協同組合研究』2017年7月号 ①関英昭氏「協同組合とユネスコの無形文化遺産」、②中川雄一郎氏「無形文化遺産に登録された『協同組合』と『ロバート・オウエンの手紙』」

4. お問い合わせ・参加申込み先について

別紙の受講申込書を以下の事務局までお送りください。開講日の前日まで受け付けますが、なるべく早めにお申し込みくださいますようお願いいたします。

日本生活協同組合連合会 資料室 三崎 敬子

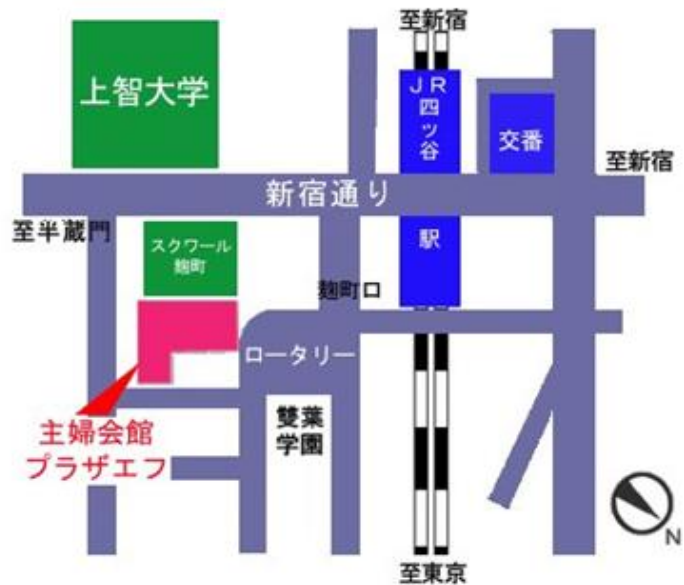
〒102-0085 東京都千代田区六番町15番地 主婦会館プラザエフ5階

TEL.03-5216-7760

FAX.03-5216-6035

E-MAIL:

shiryou-toiawase@jccu.coop



【参考】

●「資料室土曜講座」第1期＝2014年度 第2期＝2015年度

受講対象を日本生協連グループで働く方々、OB・OGの方々に限定して開催。内容省略。

●「資料室土曜講座」第3期＝2016年度

統一テーマを「生協運動の現在につながるテーマについての先駆者に学ぶ」とし、4人の講師による企画。生協に関心のある方や生協を研究対象とされる方々にまで、広く参加を呼びかけることにした。以下、テーマの一覧。

第1回：柳田国男の消費組合論

第2回：戦前・戦後の生協の消費組合運動の女性リーダーとしての奥むめおに学ぶ

第3回：賀川豊彦と吉野作造から学ぶ

第4回：戦前の消費組合の組合員の活動について

●「資料室土曜講座」第4期＝2017年度 統一テーマを継承。以下、テーマの一覧。

第1回：日本生協連第3代会長・石黒武重氏から学ぶ

－異色の大物、協同組合を愛し、力を尽くす－

第2回：日本生協連第4代会長・中林貞男氏から学ぶ

－「平和とよりよい生活のために」を体現－

第3回：協同組合における参加型民主主義－組合員参加の再生をめざして－